

科学が好きな子どもを育てる教育実践・計画を募集する「ソニー子ども科学教育プログラム」  
全国 184 校の小・中学校より選ばれた最優秀校

## 研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催 10月2日(金) 広島県東広島市立河内小学校

— 研究発表、公開授業、記念講演他 —

記念講演：角谷 重樹氏（広島大学名誉教授）

後援：文部科学省、広島県教育委員会、広島県小中学校校長会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2014年度「ソニー子ども科学教育プログラム」で「最優秀校」に選ばれた広島県東広島市立河内小学校(校長:新谷淳子/広島県)にて、優れた教育実践を公開・発信する「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」は、1959年にソニー創業者の井深大が始めた教育助成活動です。昨年度、本プログラムの最優秀校に選ばれた河内小学校は、豊かな自然に囲まれた環境を活かし、「科学が好きな子ども」を育成する取り組みを6年に渡り継続されました。本大会では、元文部科学事務次官 御手洗 康氏を含む審査委員より高く評価された実践の様子を、公開授業などを通じて全国の教育関係者のみなさまに広くご紹介します。

また当日会場では、広島大学名誉教授 角谷重樹氏の記念講演、和文化教育の一環として取り組む「河内子ども神楽」の5、6年生による舞のステージ、および同プログラムに入選した他県の理科教員によるポスターセッションなどを予定しています。

昨年10月に長野県で開催した全国大会には、全国の教育関係者、学生、地域や学校関係者を含め約400名が訪れました。素晴らしい取り組みと、次世代を担う子どもたちの学びの姿をぜひご覧ください。

※河内小学校の最優秀論文全文はホームページでお読みいただけます  
[http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2014\\_sci\\_kouchi.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2014_sci_kouchi.pdf)

※河内小学校からのご案内(PDF)はこちらのページからご覧ください  
<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/taikai/20151002.html>



### 「ソニー子ども科学教育プログラム」最優秀校 全国大会(研究発表) 開催概要

広島県 東広島市立河内小学校(広島県東広島市河内町中河内 1013)

開催日時: 10月2日(金) 9:00~16:30

研究主題: 「主体的に追究し 友と学び合い 意欲的に活動する子どもの育成」

内容: 研究発表、各学年各教科での授業公開、授業案・教材に関するポスターセッションなど

記念講演: 「これからの理科教育で育てるもの」 角谷 重樹氏(広島大学名誉教授)

主催: 河内小学校、公益財団法人 ソニー教育財団、ソニー科学教育研究会

後援: 文部科学省、広島県教育委員会、東広島市教育委員会、広島県小中学校校長会 他

## 「ソニー子ども科学教育プログラム」最優秀賞 論文

広島県 東広島市立河内小学校

論文テーマ: 「主体的に追究し 友と学び合い 意欲的に活動する子どもの育成」

論文全文 ([http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2014\\_sci\\_kouchi.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2014_sci_kouchi.pdf))

### 【審査講評】

豊かな自然に囲まれた環境を活かし、「科学が好きな子ども」を育成する実践に、6年間にわたり取り組んでいます。地道な実践の積み重ねが、研究や課題の深化に繋がり、テーマである「主体的に追究し 友と学び合い 意欲的に活動する子ども」の具現化が図られています。継続的に子どもに寄り添って改善に努めてきた成果が、子どもの学ぶ姿や指導計画に具体化されています。生活科・理科・総合の実践は「つなぐ」をキーワードに展開され、事象との出会いを大切にしながら、一人一人の考えを伝え合うことで意欲的に追究し、見方・考え方を深めていく学びが分かりやすく示されていました。また、複式授業の特色を生かした取り組みについても、子ども同士の交流をうまく学習過程に取り入れている点が注目に値します。子どもたちの主体的な追究や気づきに導いていることに加え、地域と連携を図るなど河内小学校の特色を生かした活動の広がりが評価されました。

### ■ソニー子ども科学教育プログラムとは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200校の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。

元文部科学事務次官の御手洗 康氏を審査委員長に、各界の専門家が実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、最優秀校など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。

上位入選校は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/index.html>

### ■ソニー教育財団について

ソニー創業者の井深大は、会社創立に際して「国民科学知識の実際的啓発活動」を目標に掲げています。日本の将来の発展を支える子どもたちが科学に関心をもち、科学を好きになるには、小・中学校における理科教育が最も重要であると考え、1959年に「ソニー理科教育振興資金」の贈呈事業を始めました。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立。2000年には子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。これまでに延べ12,000件を超える応募があり、50年以上もの間、子どもたちの教育に創造的、先駆的な取り組みを行っている全国の小・中学校や先生方を支援してきました。



ソニー創業者 井深大

一方で、井深大は「人間の能力は“環境”によって作られる」との考えから、幼児教育の大切さを訴え、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立し、その研究と実践を推進しました。2001年には2つの財団を統合して「財団法人 ソニー教育財団」を設立。2011年より「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行し、今日に至ります。

### <報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>